令和４年度　学校関係者評価結果　　令和5年6月22日

学校関係者評価委員		（敬称略）
委員長	西原達次	公立大学法人九州歯科大学　理事長・学長
副委員長	谷川陽一	福岡県立小倉商業高等学校　校長
委員	棟安正人	北九州市小倉旅館ホテル組合　副組合長
委員	大森弘太郎	九州医療スポーツ専門学校同窓会　会長

評定の意味

4：適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後さらに向上させるための意欲がある。
3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
2：対応が十分ではなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
1：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

基準１．教育理念・目的・育成人材像等

平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	4.0
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 理念・目標が明確であり、職業教育機関としての専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が具体的に示されている。また、各学科の教育目標も学校の理念・目標を受けて具現化を図る内容となっている。	
	棟安正人	―	―	
	大森弘太郎	4	学生便覧やホームページでも学校の理念や方針などを掲げているようでありホームページを拝見する中で様々な取り組みも実施しているようだ。	

基準２．学校運営				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.7	西原達次	3	・COVID-19禍中とはいえ、教育活動において重要な運営活動を開催しなかったという備考記載があったが、内部質保証という視点で、この対応による影響を確認したい。 ・学科によっては改善を要するという記載内容が備考欄に散見された。それに対する学校の具体策を確認したい。	3.6
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 特別顧問・特別講師・教員とも実績を積まれている方々を確保されており、組織体制も明確にされているため、安心・安全な運営ができている。また、職員の研修等も整備が進んでいる。	
	棟安正人	―	―	
	大森弘太郎	4	各項目とも運営方針、計画に基づいて進められている状況のようなので問題なさそうです。 学科により組織図や面談などが不十分な部署もあるようだが、 多くの学科は問題なく進めていると思う。	

基準３．教育活動				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.7	西原達次	3	備考欄の「一部の授業評価（授業観察）しかできていない」と記載されているが、改善に向けての対策を確認したい。	3.8
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 各学科とも到達目標が明確にされている。また、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムが編成されており、工夫された学習方法が系統的に位置付けられている。 なお、評価を１としている「質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察の実施」については、令和５年度からの対応をお願いしたい。	
	棟安正人	―	―	
	大森弘太郎	4	教育活動に於いて、学科ごとの卒業時の国家試験の合格率も向上していると思う。 今後、授業の観察などが全ての学科に進めていければ良さそうだ。	

基準４．学修成果・教育成果				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.7	西原達次	3	就職支援の組織的対応とその効果について確認したい。	3.5
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 資格・検定等に関する目標が明確に提示されており、合格率の向上に向けての取組がなされている。その結果、進路選択の幅を広げ、就職率の向上につながっている。なお、評価を１としている「学生の就職活動に関する記録」については、今後の学校運営にも関わることとなるため、早急に対応をお願いしたい。	
	棟安正人	―	―	
	大森弘太郎	4	学科によって、資格取得や検定の内容などの共有が不十分なところがあるようです。また、卒業後の進路に関して個別での対応もあるようで、卒業生の活躍を把握できるように共有ができていけば尚更良さそうだ。	

基準５．学生支援				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.7	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	3.6
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制が整備されて おり、生徒・保護者等もＨＰ等でその情報を収集することができる。そのため、安心して学習に臨める環境にある。施設設備面においてもニーズを踏まえた教育環境が整備されている。	
	棟安正人	―		
	大森弘太郎	3	学生の支援に関して、なかなか学校側だけでは解決しにくいところはあるかも知れませんが、学生一人一人にさらに対応できる環境づくりが必要なのかも知れません。	

基準６．教育環境				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	3.9
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 各学科とも、教育上必要となる施設・設備が十分整備されている。加えて随時必要となる機材・備品の確保もされており、生徒にとって安心・安全な教育環境となっている。また、学外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についても十分な教育体制が整備されている。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	4	医学関係の本は膨大な数になると思いますが、新しい情報や文献なども踏まえて学生が学ぶ環境に必要な図書の購入や、図書台帳の管理などがもっと望まれるのかも知れないですね。	

基準７．学生の募集と受入れ募集				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	4.0
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているため、適切な情報提供がなされている。また、入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験など、選抜方法も明示されているため、適切な生徒募集活動が行われている。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	4	問題なさそうです。	

基準８．教育の内部質保証システム				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.3	西原達次	3	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、基準8に関しては、備考欄の記載から、適正な内部質保証体制が調えられていない、あるいは機能していないのではないかという感じがした。そこで、貴校の内部質保証システムの現況をエビデンス（根拠資料等）で確認したい。（本件については、「総括」で詳細に記載していますので、そちらもご覧ください）	3.5
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学校関係者評価の結果に基づき、学校評価（自己評価報告書）が適切に公開されている。なお、今後、学校関係者評価の結果に基づいた検証・改善計画の検討をお願いしたい。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	3	学科ごとで、計画や評価・検証ができていないところもあるようで、改革・改善が必要と感じました。	

基準９．財　務				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	4.0
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 財務について会計監査が適正に行われており、貸借対照表、事業活動収支計算書、事業報告書等、私立学校法に基づいて財務情報公開体制がきちんと整備されている。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	4	問題なさそうです。	

基準10．社会貢献・地域貢献				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.3	西原達次	3	備考欄に、改善すべきことが記載されている点について、具体的な改善策を確認したい。	2.5
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献について、全体的に低い評価である。地域の活性化のために、地域と連携した取組の検討をお願いしたい。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	3	コロナも５類感染症に移行しているので、今後の社会貢献・地域貢献などの活躍や貢献に期待しております。	

基準11．国際交流				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	西原達次	4	エビデンスとして列挙されている資料の内容を確認できないなか、大学が提示している資料をもって内部点検・検証をしたものと捉え評定した。	4.0
	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 留学生の受入れや海外への留学における学習支援・生活指導等について、適切に説明がされている。加えて、事業計画に基づいて留学生の受入れ・派遣についての戦略が明確である。	
	棟安正人	－		
	大森弘太郎	4	問題なさそうです。	

総　括		
	委員氏名	意見
	西原達次	今回の依頼文書にあるように、今年度から各項目におけるエビデンス（根拠資料等）を記載する形で資料が提供されています。 この変更は、全ての教育機関に求められている「内部質保証システム」の構築が組織的に運用されていることがもとめられていることが前提となっていると理解しています。 貴校においても、これまでも内部質保証ということで対応されてきたことかと思いますが、今年度の評価方法においては、内部質保証システムが機能していることが前提ですので、学校内に「内部質保証委員会」等が学内規則もしくは規程等のもと設置され、学内で組織的に教育活動等の基準について、適正に自己点検・評価していることが前提となります。 このように、教育機関の認証評価が変化しているなかで、我々が担当している「学校関係者評価委員」活動をどのような位置付けにするのかも、学内規程等で規定する必要があるかと思います。そういう意味で、現状の本会議が第三者外部評価委員によるものと位置付けられているのか否かが気になります。ご教示ください。
	谷川陽一	適切に評価がされている。 理念・学校教育目標に基づいて、各学科とも到達目標が明確にされているため、系統的に充実した教育活動がされている。また、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムが編成されており、工夫された学習方法も位置付けられているため、将来の夢の実現に向けて、とても魅力的な学校となっている。
	棟安正人	－
	大森弘太郎	今期の評価は例年と少し変化もあり評価が難しいところもありましたが、昨年からの変化なども感じられました。 学校としても成長していっていると思います。